屋内消火栓消火設備　⑤

試験項目			種別・容量等の内容	結果
総合試験	※操作性試験（易操作性1号・2号・広範囲型2号消火栓）		ホースリール式・折畳等収納式	
	非常電源切替装置	自家発電設備	―――	
		蓄電池設備	―――	
		燃料電池設備	―――	
備考				

備考1　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
2　選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
3　Ａは主要構造部を耐火構造とし内装制限したもの、Ｂは主要構造部を耐火構造としたもの又は準耐火建築物で内装制限したもの及びＣはＡ及びＢ以外のものをいう。
4　１号消火栓は「屋内消火栓設備の屋内消火栓等の基準」（平成25年消防庁告示第２号。以下「屋内消火栓等基準告示」という。）第２第１号⑴の規定に適合するもの、易操作性１号消火栓は同号⑵の規定に適合するもの、２号消火栓は同号⑶の規定に適合するもの及び広範囲型２号消火栓は同号⑷の規定に適合するものをいう。
5　※印の試験は、「加圧送水装置の基準」（平成９年消防庁告示第８号）又は屋内消火栓等基準告示に適合している旨の表示が付されているものにあっては、省略することができる。
6　結果の欄には、良否を記入すること。
7　非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
8　総合操作盤が設けられているものにあっては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

別記様式第三を次のように改める。

別記様式第３　①

スプリンクラー設備試験結果報告書

試験実施日　　年　　月　　日

試験実施者

住　所

氏　名　　印

用途	（　　）項	構造	
延べ面積	m^2	階数	地上　　階　地階　　階
加圧送水装置の種別	方式		
流水検知装置の方式	湿式　　乾式　　予作動式		
スプリンクラーヘッド	種別		
	設置個数		

試験項目			種別・容量等の内容	結果
外観試験	水源（水道の用に供する水管を水源とするものを除く。）	水源の種類・構造	―――	
		水量	m^3（縦　m　横　m　有効深さ　m）	
		吸水障害防止措置	有　・　無	
		給水装置	―――	
		耐震措置	有　・　無	
	加圧送水装置	設置場所		
		ポンプを用いるもの　ポンプの仕様	製造者名	定格吐出量　ℓ/min
				定格全揚程　m
			型式	製造番号
			製造者名	種別　型電動機
		電動機の仕様		定格電圧　V
			型式	定格電流　A
			製造番号	出力　kW
		内燃機関の仕様	製造者名	燃料種別
			型式	定格回転数　r/min
			製造番号	